前年受講した統計学では様々な統計検定法（＝カイ二乗検定など）を学びましたが，計量政治学ではt分布を使う事が多いのでしょうか．

補助教材のUnpaired ttest のところではなぜ t = 2.40002 であり，95% confidence interval である 0.49, 7.59の間にtの値が入るのに帰無仮説が棄却されるのでしょうか．この場合の棄却域はどこに書いてあるのですか．

教科書の章末問題に関して，選挙で候補者が使う選挙費用が増えるほど得票率は高くなるという理論を検証するためには，選挙費用の額が低い領域にある候補者の得票率と高い領域にある候補者の得票率の平均の差をUnpaired dataとして検定するのであっているでしょうか．あるいは，母集団全体での得票率をあらかじめ出して，選挙費用を多く使っている候補者の得票率の標本の平均が母集団と差があるか検定するのでしょうか．

また，先生が授業中に見せてくださった先生の論文など，参考にできるような英語で書かれた論文を共有していただければありがたいです．期末論文を英語で書こうと思っているため，参考にしたいです．